

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

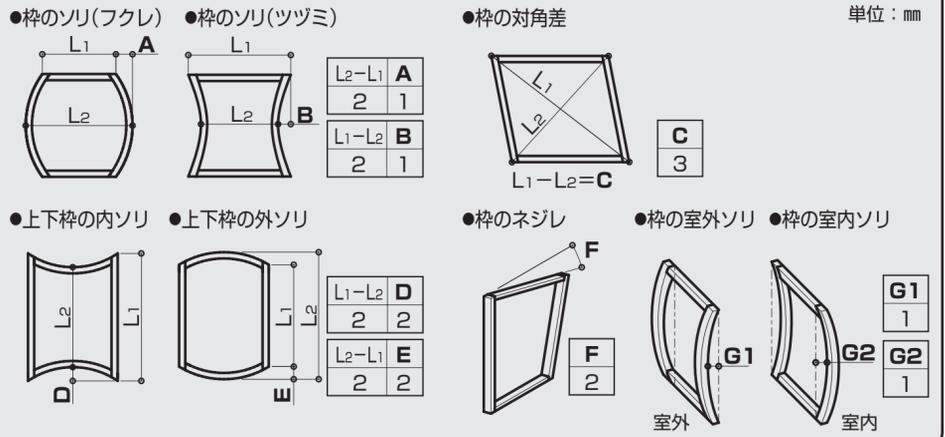
本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

お願い

- 商品を正しく施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
- 商品の施工については必ず本説明書に従ってください。
- 商品周辺の防水処理と商品本体のシーリングは説明書に従って必ず行ってください。
漏水は家屋や家財を傷める原因になります。
- 取付けは所定のねじを使用して最後まで締付けてください。
締付け不良は漏水や事故の原因になります。
- 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれのないことを確認してください。
取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因となります。
- 施工完了後、説明書の調整方法通り、調整が行われていることを確認してください。
調整不良は操作不良や異常音の原因になります。
- 玄関土間タイル施工後、タイルのクリーニング時に酸・アルカリ・塩素系の洗浄液は
使用しないでください。下枠腐食の原因になります。

枠取付精度

枠取付精度が下記寸法以下になっているか確認し調整してください。
下記寸法を超えると錠がかからなくなったり、性能が悪くなります。

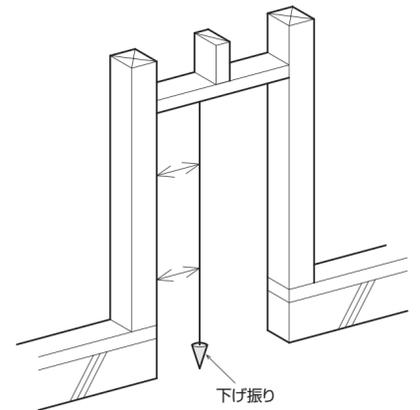


同梱一覧

| 番号 | ① | ② | ③ | ④ |
|----|-------------------|-------------------|-------------------|---------|
| 姿図 | | | | |
| 品名 | 皿木ねじ (φ3.8×25) | 皿木ねじ (φ3.8×50) | 皿木ねじ (φ3.1×20) | 丁番ライナー |
| 品番 | WF-3825 | WF-3850 | WF-3120D7 | K-39173 |
| 色別 | 無 | 有 | 有 | 無 |
| 個数 | 一般枠・断熱枠 | ランマ無 | 16 | 2 |
| | | ランマ有 | 18 | |
| | 下枠幅木付枠 | ランマ無 | 13 | |
| | | ランマ有 | 15 | |
| 備考 | 枠取付用 | 枠取付用 | アングル取付用 | |

1. 開口部の確認

- ① 下げ振り、水準器などを用い、柱の垂直や間隔、まぐさの水平を調整してください。



2. 枠の取付

図はランマ付タイプで示しています。ランマ無タイプも同様に取付けてください。

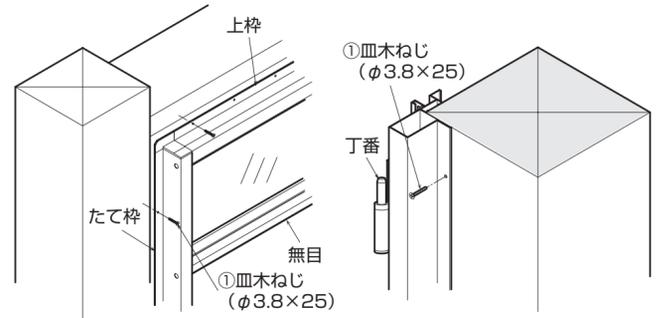
注意

電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、
締付けトルクは以下を目安に設定してください。
2.0~2.5N・m(20~25kgf・cm)程度

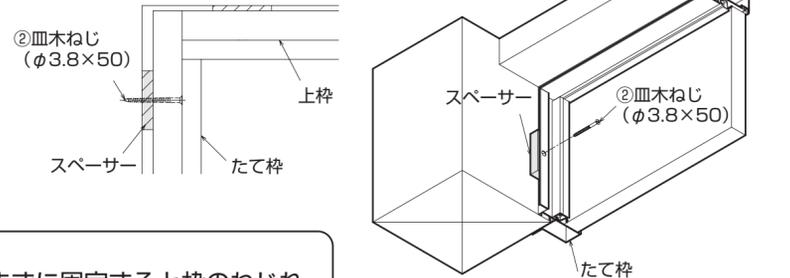
お願い

施工完了まで下枠に足を掛けないで
(踏まないで)ください。
下枠が、ころんだり変形するおそれがあります。

- ① 躯体と枠の水平・垂直・チリを確認のうえ、扉吊元側たて枠の垂直を確認して調整してください。
- ② たて枠の外側ヒレをねじで固定してください。



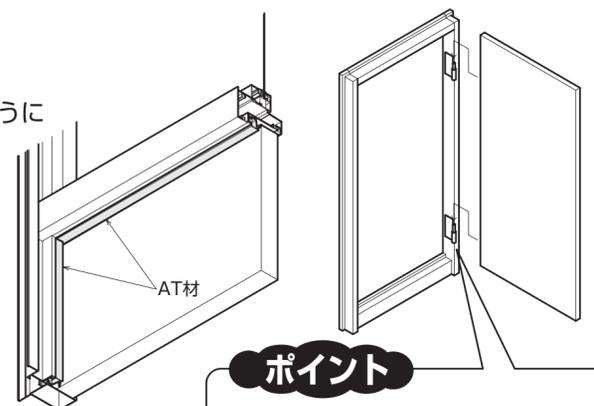
- ③ 躯体と枠のすき間にスペーサーをはさみ、室内側の枠を固定してください。



ポイント

スペーサーをはさみず固定すると枠のねじれ、ころびの原因となりますのでご注意ください。

- ④ ドア本体を吊込んでください。
- ⑤ ドア本体と枠の上下および左右のチリ寸法を調整してください。
- ⑥ 枠AT材が、ドア本体に密着するように枠の出入りを調整してください。

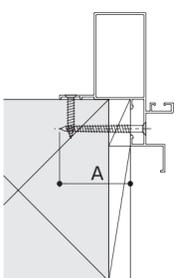


ポイント

下側の丁番を先にあわせてください。
軸が長くなっています。

ポイント

柱の枠取付ねじの掛かりAが十分確保されていることをご確認ください。



3. ドアクローザの取付



ドア枠固定後、ドアクローザを取付けてください。(ドアクローザに同梱の取扱説明書を参照してください。)

4. 錠受の調整

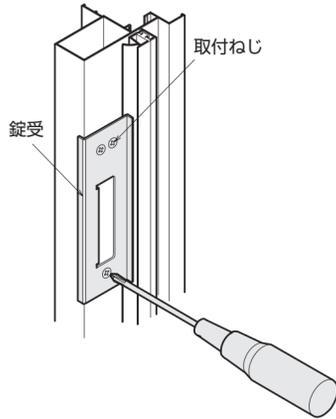


ロックやラッチボルトがかからない場合は、次の操作を行ってください。

- 1 取付ねじをゆるめてください。
- 2 錠受を室外側に出してください。

ポイント

錠受は、室外側に0~3mmまで調整できます。調整量は、最小限にしてください。調整時は、ドアクローザの調整と併せて行ってください。(調整方法は、ドアクローザの取付説明書を参照してください。)



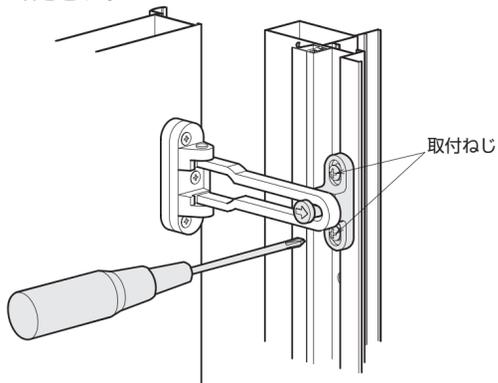
- 3 調整後は、必ず取付ねじを締付けてください。

5. ドアガード受の調整



ドアガードがかからない場合

- 1 ドアガード受取付ねじをゆるめ、ドアガード受を上下調整してください。



ドアガード受は、収納式です。使用しない時は、突起を押し込んでください。

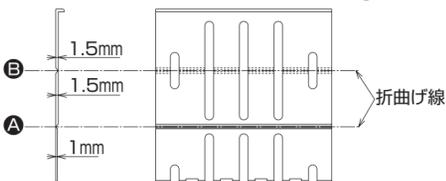
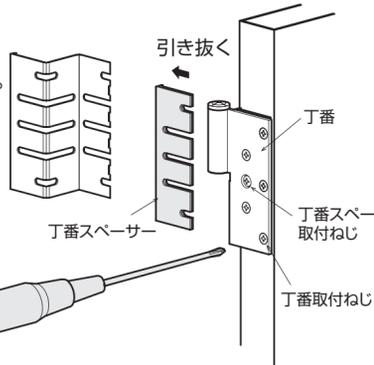
6. 建付調整



枠を取付けた後、調整が必要な場合、丁番部で調整することができます。(この調整は、あくまでも補助的なものであり、調整量に限界があります。)

1 左右方向の調整

- 1 ドア側の丁番取付ねじ(5本)および丁番スペーサー取付ねじをゆるめ、丁番スペーサーを引き抜いてください。
- 2 丁番スペーサーを開き、折曲げ線に沿って切り、元に戻して使用してください。



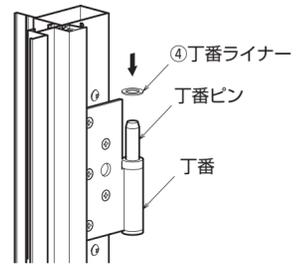
ポイント

ドア本体は、吊元側に0~4mmまで調整できます。

- 3 ラッチボルトが受にとどきにくい時は、丁番スペーサーセット(オプション) BS-D1400-1を使用して戸先側に調整してください。

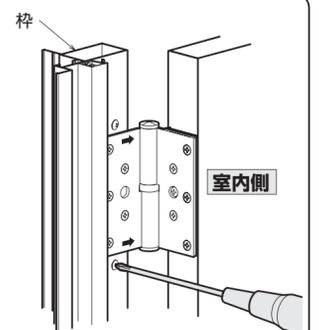
2 上下方向の調整

- 1 ドアを枠から外し、付属の丁番ライナーを丁番ピンに差込んでください。(丁番ライナーを使用すると、ドアは1mm上がります。)



3 室外方向の調整

- 1 枠側の丁番裏板を止めているねじ(2本)をゆるめてください。
- 2 丁番取付ねじ(5本)をゆるめて調整ください。
- 3 調整後、ゆるめたねじを全て締付けてください。



ポイント

ドア本体は、室外側に0~3mmまで調整できます。